

動詞の「法」 mode について

直説法 Mode indicatif (l'indicatif) : 現実の世界 ; 客観的事実として示す

(実際にそうである・そうだった・そうなるだろうこととして)

Elle *part* pour la France.

彼女はフランスに出発する。(彼女は実際に出発する)

条件法 Mode conditionnel (le conditionnel) : 仮定・想像の世界 ; 仮定的事実として示す

(実際にはそうではない、そうではなかった、そうならないはずのこと、ただし、ある仮定・条件の下に想定されることとして)

Si elle avait de l'argent, elle *partirait* pour la France.

彼女は、お金を持っていたら、フランスに出発するだろうに。

(実際にはお金がないので、彼女は出発しない)

接続法 Mode subjonctif (le subjonctif) : 不確実・主観・感情・疑問・否定の世界 ; 主観的事実として示す (実際にそうであるか否かは問わずに、あるいはその区別を避けて)

Sa mère veut qu'elle *parte* pour la France.

彼女の母は、彼女がフランスに出発することを望んでいる。

(彼女が実際に出発するか否かはともかくとして)

Pensez-vous qu'elle *parte* pour la France ?

あなたは、彼女がフランスに出発すると思いますか？

(彼女が実際に出発するか否かはともかくとして)

Sa mère est contente qu'elle *parte* pour la France.

彼女の母は、彼女がフランスに出発することを喜んでいる。

(彼女の母が喜んでいること、つまり感情の対象となっている)

Je ne crois pas qu'elle *parte* pour la France.

私は、彼女がフランスに出発するとは思いません。

(否定の対象となっている)

命令法 Mode impératif (l'impératif) : 命令・願望・勧告・意志の世界

Partez pour la France. フランスに出発してください。

Travaillons bien ! しっかり働こう !

不定法 Mode infinitif (l'infinitif) : 未定・不定の世界 ; 動詞の名詞的用法

(動作や状態を名詞化して示す : 「・・・すること」「・・・であること」)

Vuloir, c'est pouvoir. 欲することはできること。欲すれば可能である。

Nous voulons *savoir* la vérité. 私たちは真実を知りたいのです。

(「真実を知ること」を望む)

Nous sommes contents d'*avoir appris* la vérité. 私たちは真実を知って喜んでいます。

(「真実を知ったこと」を喜んでいる)

分詞法 Mode participe (le participe) : 継続または完了 / 能動または受動 ; 動詞の形容詞的用法

(動作や状態を形容詞化して示す ; 名詞にかかる・名詞に説明を加える)

現在分詞 le participe présent : 能動 / 継続・同時

J'ai vu Paul *jouant* du piano. (J'ai vu Paul *qui jouait* du piano.)

私はピアノを弾いているポールを見た。

Beaucoup d'enfants, *vivant* dans les villes, ne connaissent les animaux que par la télévision.

多くの子供たちは、都市に住んでいるので、動物をテレビでしか知らない。

Ayant fait ses devoirs, il est sorti. (複合形 [=完了形] は完了を示す)

宿題をしてしまうと、彼は出かけた。

過去分詞 le participe passé : 受動 / 完了

J'ai trouvé une chambre à louer dans un appartement *habité* par une vieille dame.

私は、老婦人が住んでいるアパートに貸間を見つけた。

Revenu de l'école, il a commencé ses devoirs.

学校から帰ると、かれは宿題をはじめた。